

大項目	中項目	小項目	平成27年度計画	平成27年度実績見込み
子育て家庭への支援	-1身近なつどいの場・気軽な相談窓口の充実	子育て中の親子の身近なつどいの場・気軽な相談窓口の充実	おでかけひろばの拡充 3か所増(計18か所) 地域交流事業の充実 利用者支援事業 おでかけひろば等2か所増(計2か所) 児童館子育て支援館事業 子育てひろば・おでかけひろばの充実 ひろばスタッフ・児童館職員研修 子育て応援ブック・せたがやの子育て・アプリによる子育て情報の提供の充実	3か所増(計18か所) 保育・幼児教育施設地域交流事業の実施 2か所(地域子育て支援コーディネーター)増(計2か所) 子育て支援館5館開設 子育てひろば・おでかけひろばの充実 ひろばスタッフ基礎研修等年間11回実施、子育て支援研修(児童課基本研修)45名 応援ブック16,500冊、せたがやの子育て36,000部、アプリの運用
		就学後の子どもをもつ親が気軽につどえる場や機会の充実	新BOP・児童館での相談	64新BOPで実施 25児童館で実施 相談件数5,200件
	-2子育て力発揮への支援	親の学びの支援	ノーバディズ・パーフェクト講座の実施 児童館子育て講座・懇談会 家庭教育学級支援 親子サークル 発達支援親子グループ事業の充実	3回実施、参加者32名 25館で540講座実施 全区立幼稚園・小中学校で実施 継続実施 年間7グループ実施(66組参加)
		親がリフレッシュできる場・機会の充実	一時預かりの充実(幼稚園を除く) 139,250人日/年 1)ほっとステイの拡充 ひろば型 新設3か所 2)保育所等での一時保育の拡充及び機能充実 ・保育園型 新設12か所 ファミリー・サポート・センター事業開始(利用者数20,152人日/年) ショートステイ・トワイライトステイ事業 さんさんサポート 産前産後のセルフケア事業の充実	116,280人日/年 1)ほっとステイ(ひろば型) 新設1か所 2)一時保育(保育園型) 新設5か所 ファミサポ9,921人日/年<7月事業開始～11月分実績> 1)赤ちゃんショートステイ 利用者延べ人数27人 利用延べ日数 116日 2)子どものショートステイ 利用者延べ人数186人 利用延べ日数 515日 3)トワイライトステイ 利用者延べ人数2人 利用延べ日数 2日 利用回数2,533回<27年11月時点> 10児童館で計30回実施 参加者内訳 妊婦130名、子連れ200組
	-3子どもと親のこころと体の健康づくり	子どもと親のこころと体の健康づくり	妊娠相談実施窓口リスト提供 母親学級・両親学級の実施、妊娠届時のアンケート実施 乳児期家庭訪問の100%の実施及び継続支援 育児講座開催と地域情報の把握及び情報提供 地域ネットワークの充実と人材育成 MCG・養育支援訪問・1歳6か月児健診後のフォローグループ(親子支援グループ)の実施	記載のないものについては、27年9月末時点の実績 都の相談窓口を中心に周知 母親学級 30回671人 両親学級 30回1,047人 休日両親学級 18回998人 アンケート回収率 77.5% 家庭訪問3,904件(97.3%実施) 25回実施(846組参加) 地域ネットワーク会議開催、研修実施1回30人 MCG 31回実施、293人参加 養育支援訪問 延べ1,347件実施 親子支援グループ 71組(234人)<27年11月末時点>
		思春期のこころと体の健康づくり	専門相談とアクセスしやすい相談の分担と整備検討 思春期講演会の計画的実施 思春期協議会等を元にした支援者の連携強化	検討会の実施継続 各支所間で年間計画を共有 協議会・作業部会の開催による連携継続
		食育の推進	離乳食講習会や食育ガイドブック活用講座等を通じた相談及び情報発信 地域における異世代による共食事業	<数値は年度内実施予定数> 離乳食講習会72回、食育ガイドブック講座3回 児童館12回、小中学校6回、地域活動サークル等4回
		歯と口の健康づくり	産前産後歯科相談 1歳6か月、2歳6か月、3歳児歯科検診 すくすく歯科相談	1,173人<平成27年9月末時点> 1歳6か月4,199人、2歳6か月2,599人、3歳児4,689人 <27年12月30日時点> 3,076人<27年12月30日時点>
保育・幼児教育の充実	-1保育施設・多様な保育サービスの整備・拡充	子育て家庭のニーズに沿った保育・幼児教育の整備	私立認可保育園の整備 新設15か所程度 既存私立認可保育園の移転拡充 1か所 小規模保育事業等の整備 新設1か所程度 認可外保育施設における新制度の給付施設等への移行支援	新設11か所 移転拡充・増床 2か所 新設1か所 選定13か所
		子育て家庭のニーズに沿った多様な保育の提供	時間外保育事業の拡充 計3,000人 幼稚園による一時預かりの充実 304,904人日 病児・病後児保育事業の充実 17,400人日	保育園新設 12園(計2,979人) 321,194人日 18,300人日(新設1か所含む)
	-2保育・幼児教育の質の向上	保育の質を支える仕組みの構築	巡回指導相談の拡充 指導・監督体制の強化 保育施設間ネットワークの強化 保育の質ガイドラインの活用	巡回指導相談 237か所 指導検査の実施 13か所<27年12月末時点> 保育施設ネットワークの取り組み 5地域で計20回実施(参加人数750人) 概要版の作成、保育実践フォーラムの開催、保育の質ガイドライン検討委員会の開催
		区立施設が果たしていく役割の強化	地域型保育事業施設への近隣区立保育園による支援 「保育施設再整備方針」に基づく拠点保育園の整備 基本設計 2園 「保育施設再整備方針」に基づく統合園の整備 基本構想・基本設計 1園 災害時応急保育の課題整理 幼保小間の連携強化の検討及び推進	支援の実施 基本設計 2園 基本構想・基本設計 1園 ワーキンググループによる災害時応急保育の課題整理 スタートカリキュラムの検討

大項目	中項目	小項目	平成２７年度計画	平成２７年度実績見込み
保育・幼児教育の充実	-2保育・幼児教育の質の向上	保護者の保育・幼児教育等の選択への支援	利用者支援事業 おでかけひろば等 2か所 子ども家庭支援センター 5か所 計7か所 おでかけひろば・児童館子育てひろばでの情報提供 施設情報の公開に向けた準備	おでかけひろば等2か所 子家セン(子育て応援相談員を設置)5か所 計7か所 おでかけひろば・児童館子育てひろばでの情報提供 施設情報の公開に向けた準備
		保育・幼児教育に携わる人材の確保・育成	保育人材情報等ポータルサイトの設立 保育士の宿舍借り上げ支援 在宅有資格者向け研修・講習会 ハローワーク等と連携した就職相談会 幼児教育研修・保育実務研修 幼児教育センター機能の整備 私立幼稚園研修助成	ポータルサイトを設立 86人<27年11月末時点> 研修・講習会への協力 就職相談会の実施 幼児教育研修・保育実務研修(73回)の実施 幼児教育センター機能の検討 私立幼稚園研修助成
		幼保小連携の促進	幼保小合同研修会・情報交換会	幼保教育研修の実施(幼稚園教諭、幼児の保育にかかわる教職員対象)
	-3保育と幼児教育の一体的な提供	認定こども園の普及・促進に向けた取り組み	区立幼稚園用途転換等計画に基づく取り組み 認定こども園への移行を希望する私立幼稚園の支援 私立幼稚園・私立保育園への認定こども園制度の周知	区立幼稚園の認定こども園移行支援 1園 私立幼稚園の認定こども園移行支援 1園 私立幼稚園・私立保育園への認定こども園制度の周知
		保育と幼児教育の一体的な提供に向けた職員の育成	保育・幼児教育施設の代替職員確保の支援の検討 施設職員への資格取得にかかる費用助成の検討	保育・幼児教育施設の代替職員確保の支援の検討 施設職員への資格取得にかかる費用助成の検討
支援が必要な子ども・家庭のサポート	-1養育困難家庭・要保護児童支援	養育困難家庭・要保護児童の早期支援の充実	母子保健コーディネーター配置に向けた検討 産後ケア事業の充実 1)実施11室 2)事業手法の検討 地域別連絡会議の実施	母子保健コーディネーター配置の検討 1)1床増(計11床) 2)検討会における事業検証及び手法の検討 利用者支援事業と併せて実施
		継続支援・生活支援の仕組みの充実	養育困難等ヘルパー派遣事業 委託事業者14社 子育て応援講座・ペアレントトレーニング・MEGの会の実施 学生ボランティア派遣事業 ケースワーク技法の研修や事例検討会を通した子ども家庭支援センターの機能向上	委託事業者13社 応援講座 1回(全3回)8名 トレーニング 2回(全9回)15名 MEGの会 9回2名 延べ派遣回数170回 ケースワーク技法の研修 3回
		地域支援体制の構築	要保護児童支援全区協議会・地域協議会部会・個別ケース検討会議の実施 出前講座、基礎講座の実施 子どもの虐待防止推進フォーラム、養育家庭体験発表会 児童相談所移管に向けた検討会	全区協議会2回、地域協議会9回、個別ケース検討会議70回 出前講座4回、基礎講座3回 フォーラム1回(参加者120人)、発表会1回(参加者80人) 作業部会 2回
	-2配慮が必要な子どもの支援	配慮が必要な子どもの早期支援の充実	4歳6か月児発達相談案内 年7,000件 自己認知促進プログラム「みつけば」 年36回	年7,000件 年36回
		日常を過ごす場や地域で安心して過ごせる支援の充実	地域に対する理解の促進 1)講演会・シンポジウムの開催 年1回 2)出前型ミニ講演会の開催 年40回 子どもに関わる支援者のスキルアップ 1)保育所等への“げんき”巡回支援 年300回 2)“げんき”発達障害研修 年40回 障害児等保育の充実 区立幼稚園等での障害児教育の充実 特別支援学級の整備・充実 放課後等デイサービスの拡充 新BOPでの受入れ 在宅療養児への理解促進と家族に対する相談支援 障害児相談支援事業所 17か所 重症心身障害児(者)在宅レスパイト事業 事業実施事業所15か所 障害者世帯介護者リフレッシュ事業 実施会場17か所	1)年1回 2)年40回 1)年300回 2)年40回 障害児等保育検討委員会の開催 5回 障害児保育研修2回実施 118名参加 訪問型技術支援研修 実施5園10回増(10園各2回実施 計20回) 配慮を必要とする幼児への介助員の配置 184人 特別支援学級の整備・充実3校、特別支援教室(巡回校)47校の整備・充実 実施9か所増(計27か所) 64新BOPで受入れ 在宅療養児への理解促進と家族に対する相談支援 1か所増(計18か所) 12月28日時点 15か所 12月28日時点 実施会場17か所
		途切れのない支援の実施	スマイルブックを活用した支援情報の引継ぎ 就学支援シート等の活用	スマイルブックを活用した支援情報の引継ぎ 就学支援シート等の活用
	-3ひとり親・生活困窮家庭等の子どもの支援	ひとり親家庭、生活困窮家庭等の子どもの自立に向けた支援の充実	ひとり親家庭等の子どもの学習支援事業の拡充 5か所 (うち生活困窮家庭を含む学習支援モデル1か所) 子どもの居場所の拠点整備 受験生チャレンジ支援貸付金 新たな奨学金制度の検討	5カ所(うち生活困窮家庭を含む学習支援モデル1か所) 実施2か所 貸付決定件数(見込)380件/年 新たな奨学金制度の検討
		情報提供・相談機能の充実	メールマガジンの配信、リーフレットの配布 家庭相談、母子・父子相談、女性相談の実施 おでかけひろば、保育園・幼稚園・児童館等での相談事業 母子自立支援員等支援関係者の研修 相談窓口体制の強化	メールマガジン 毎月1日・15日配信×12か月=計24回 リーフレット 5,000部発行予定 各種相談を実施(女性相談実績935件)<27年11月末時点> 相談を実施 研修 1回(見込) 体制の強化
		ひとり親家庭の自立に向けた就労支援の充実	母子家庭及び父子家庭自立支援教育訓練給付事業 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業の検討 三茶おしごとカフェと連携した就労支援講座 らぶらすでの就労支援	事業の実施 2件<27年12月時点> 事業の検討 講座の実施 3回(予定) 女性向け就労支援講座 1回実施(予定) 女性のための起業支援塾&サロン 延べ60人
		ひとり親家庭の子育てと仕事の両立を図るための子育て・生活支援等の充実	ひとり親家庭休養ホーム事業の実施 都営・区営住宅使用料減額等支援の実施 母子生活支援施設の機能強化 ・緊急一時保護、ショートケア事業の実施 児童育成手当・児童扶養手当	利用実績 819回<27年11月末時点> 50件 緊急一時保護(2施設)延べ延べ利用日数134日 ショートケア事業(1施設)延べ利用日数124日 <27年12月末時点> 児童育成手当 61,297人/年 児童扶養手当 41,767人/年 <27年12月末時点>
	-4悩みや困難を抱えた子どもの支援	ニーズに応じた相談機能の充実	子ども家庭支援センターにおける会議の開催 若者総合支援センターとその他の若者関連の相談機能との連携	支援会議120回、個別ケース検討会議70回 若者支援連携会議4回(予定)
		子どもの居場所の拠点整備	大学生の運営する居場所の整備及び運営協力	昭和女子大学の運営する居場所「あいりす」を整備、日本大学文理学部の運営する居場所「たからばこ」を整備

大項目	中項目	小項目	平成２７年度計画	平成２７年度実績見込み
質の高い学校教育の充実	-1地域との連携・協働による教育	地域が参画する学校づくり	「学校支援地域本部」モデル校の実施 小・中学校通学路等の警備、パトロール、安全点検	「学校支援地域本部」モデル校の実施 小・中学校通学路等の警備、パトロール、安全点検
		地域コミュニティの核となる学校づくり	学校施設の活用の検討 学校と地域が連携した活動の課題の整理	学校施設の活用の検討 学校と地域が連携した活動の課題の整理
		地域教育力の活用	区内大学等との新たな連携・協力事業のしくみづくりの推進	区内大学等との新たな連携・協力事業のしくみづくりの推進
	-2「世田谷９年教育」で実現する質の高い教育の推進	豊かな人間性の育成	人権教育、生命の尊重、豊かな感性をはぐくむ教育の推進 学校・家庭・地域が連携した取り組みの充実 道徳センター校の取り組みの推進 「いじめ防止プログラム」 動物飼育支援活動モデル事業の検証 校外学習等の充実に向けた検討	人権教育、生命の尊重、豊かな感性をはぐくむ教育の推進 学校・家庭・地域が連携した取り組みの充実 道徳センター校の取り組みの推進 「いじめ防止プログラム」 動物飼育支援活動モデル事業の検証 校外学習等の充実に向けた検討
		豊かな知力の育成	「学習習得確認調査」等児童・生徒の基礎・基本などをはぐくむ取り組みの推進 「イングリッシュタイム」の試行 情報モラルにかかわる取り組みの推進 学校図書館の機能の充実に向けた取り組み(研究校の指定)	「学習習得確認調査」等児童・生徒の基礎・基本などをはぐくむ取り組みの推進 「イングリッシュタイム」の試行 情報モラルにかかわる取り組みの推進 学校図書館の機能の充実に向けた取り組み(研究校の指定)
		健やかな身体・たくましい心の育成	体力向上に向けた新たな取り組みの試行 異世代交流による「共食」の機会を通じた食育の試行 保健福祉等の関係機関との連携強化による思春期のこころの健康づくり支援 部活動支援員制度の充実	体力向上に向けた新たな取り組みの試行 異世代交流による「共食」の機会を通じた食育の試行 保健福祉等の関係機関との連携強化による思春期のこころの健康づくり支援 部活動支援員制度の充実
		これからの社会を生きる力の育成	教科「日本語」推進リーダーの育成、指導資料の充実等 環境・エネルギー教育の新たな取り組みの推進 海外派遣・受入事業 子どもたちが自ら判断し行動できる防災教育、学校と学び舎等が連携した防災教育の推進 職場体験、キャリア教育等の推進	教科「日本語」推進リーダーの育成、指導資料の充実等 環境・エネルギー教育の新たな取り組みの推進 海外派遣・受入事業 子どもたちが自ら判断し行動できる防災教育、学校と学び舎等が連携した防災教育の推進 職場体験、キャリア教育等の推進
		特別支援教育の充実	通常の学級の特別支援教育体制の充実 特別支援学級支援員の配置 特別支援教室導入に向けた検討及び準備 インクルーシブ教育システムの検討と検討を踏まえた取り組み	通常の学級の特別支援教育体制の充実 特別支援学級支援員の配置 特別支援教室導入に向けた検討及び準備 インクルーシブ教育システムの検討と検討を踏まえた取り組み
		-3信頼と誇りのもてる学校づくり	教員の資質向上のための支援	教員の研修・研究の質の向上等に向けた取り組み 新教育センター基本構想の策定に向けた検討 幼児教育センター機能の検討・一部実施
			信頼される学校経営の推進	「世田谷マネジメントスタンダード」の検討・策定 学び舎による学校運営の充実 学び舎にかかる通学区域の検討 学校及び学び舎の広報活動の充実 学校安全計画の策定・実施 「世田谷マネジメントスタンダード」の検討を踏まえた新たな学校評価システムの検討 システムの導入に向けた取り組み
			ニーズに応じた相談機能の充実	不登校対策の充実 ３か所目のほっとスクール設計 相談機能の充実
			安全安心と学びを充実する教育環境の整備	学校の適正規模化の推進 新たな学校施設整備基本方針等に基づく改築計画の推進
子どもの成長と活動の支援	-1成長と活動の場と機会の充実	成長に応じた放課後の居場所の確保	新BOP学童クラブ事業の充実、学童クラブのあり方検討 新BOP、児童館、プレーパーク等による居場所の確保	新BOP学童クラブ事業の充実、学童クラブのあり方検討 64新BOP、25児童館、4プレーパークで実施
		地域での多世代での活動と交流の場と機会の充実	児童館ティーンズタイム 児童館中高生支援館での時間延長 地域中高生交流事業 青少年交流センターの運営・整備 2か所運営、1か所基本設計 「才能の芽を育てる」体験学習	ティーンズタイム 25児童館で実施 中高生支援館(5館) 4,810人利用 地域中高生交流事業 2か所運営、1か所基本設計 小学生向け7講座、中学生向け4講座(計11講座)実施
		外遊びの機会と場の拡充	公園緑地の計画的な整備 プレーパーク 外遊び拠点の整備検討 外遊びができる機会と場の充実 1)プレーリヤカー拡充検討 2)プレーカー 3)きぬたま遊び場拡充検討 4)区立小学校遊び場開放 プレーリーダー育成・外遊びボランティア講座の検討 外遊び啓発講座イベント等による相談 水遊び全区・地区ネットワークの検討	公園緑地の計画的な整備 プレーパーク 外遊び拠点の整備検討 1)拡充場所の検討 2)3か所で実施 3)運営内容の拡充・開園日増等の検討 4)60校で実施 プレーリーダー育成・外遊びボランティア講座の検討 外遊び講座 1回実施 水遊び全区・地区ネットワークの検討
		子どもの活動を支える地域の子育て力の向上	青少年委員、青少年地区委員 青少年地区委員研修会 新BOP連絡協議会、児童館地域懇談会、中高生支援者懇談会、5地域中高生支援者懇談会等を通じた地域人材のネットワークづくり	青少年委員 各小学校に配置(64名) 青少年地区委員 1,364名<28年1月1日時点> 参加人数 296名 連絡協議会 64新BOPで実施 地域懇談会 25館で計62回実施 支援者懇談会 25館で実施 5地域支援者懇談会 各地域1回実施
	-2子どもの社会への参加・参画の機会の充実	参加から参画へ、地域での場と機会の提供	ティーンズプロジェクトの充実 参加者数2,200人 地域中学校交流事業、ティーンエイジカーニバル、ユースリーダー事業の実施 児童館事業の周知の工夫	参加者数2,200人 交流事業:実施、カーニバル:2回実施、ユース:宿泊研修を2回実施 パンフレット・児童館のおしらせ・HP等を利用
		子どもの意見表明の推進	子ども・青少年協議会への若者の登用 児童館企画会議への中高生参加 14歳の成人式 若者による全区的会議体の仕組みづくり及び参加者の拡大	委員若者枠2名の委嘱 25館で実施 14歳の成人式開催 子ども・青少年協議会にて検討

大項目	中項目	小項目	平成27年度計画	平成27年度実績見込み
子どもが育つ環境整備	-1地域の子育て力の向上	子どもの育ちを見守り支える地域コミュニティの形成	世田谷子育てメッセの開催 子ども基金の活用を通じた寄附文化の醸成 新たな基金創設に向けた検討	年1回開催 寄附が原資のひとつであることをPRし、区民相互の支えあいを通じて寄附文化の醸成を図った 新たな基金創設に向けた検討
		子育て活動の支援とネットワーク形成の支援	サポーター発掘事業、児童館での親子サークル 子ども基金の活用を通じた活動支援の実施 子育て活動団体助成 児童館地域懇談会、子ども・子育てつなぐプロジェクト等の実施を通じたネットワークの活性化	25館で実施 年2回募集、助成件数41件 13件 地域懇談会：25館で計62回、子育て活動団体交流会：5回
	-2社会環境の整備	子育てしやすいまちづくり	子育てマンション認証制度 ユニバーサルデザイン推進事業のスパイラルアップの実践(28事業) 新規バス路線の実験運行 1路線 赤ちゃんスペース 歩きやすい道路環境の整備 1)歩道整備980m(計2,100m) 2)電線類地中化整備260m(計260m) 危険箇所のカーブミラー設置、交差点のカラー舗装化	新規0件(累計1件) 点検・評価・改善を28事業において実施 1路線 「せたがやi-map」での情報提供 1)1,226m 2)170m カーブミラー20か所、カラー舗装870㎡
		子どもの安全・安心	子どもをまもろう110番 危険回避プログラム「はじめてのいってきます」、防犯ブザーの貸与 交通安全教室の開催、自転車安全利用啓発、セーフティドライブの推進	子どもをまもろう110番 プログラム実施を191施設に依頼、貸与の継続実施 交通安全教室：57小学校で67回(参加者8,972人)、 8中学校で8回(参加者2,957人)、一般向け9回(参加者2,500人) 自転車講習会：57小学校で52回(参加者4,423人)、 一般向け30回(参加者1,700人) セーフティドライブの推進：啓発用横断幕の掲出10か所、シンポジウム1回開催、リーフレットの配布
		ワーク・ライフ・バランスの推進	男女共同参画先進事業者表彰 ワーク・ライフ・バランスな一週間 (仮称)世田谷区第二次男女共同参画プランの検討 男性の育児講座 児童館での父親の育児参加	5事業者を表彰 延べ3,122人参加 検討委員会を3回、作業部会を2回実施<28年1月6日時点> しもきたパパ・バギーの日 76人 育児参加の促進 25館で実施
		子どもを生ま育てやすい環境の整備	妊婦健診費用助成内容の検討・再構築、特定不妊治療費助成制度の見直し検討 子どもの医療費助成、保育料の減額・免除 私立幼稚園保護者補助金	健診費用助成：都の妊婦健診項目追加検討に合わせ、28年4月から実施予定実績は50480件<27年9月末時点> 不妊治療費助成：制度改正経過措置の最終年度で、駆け込み需要を見込んだが実績は1097件<27年12月末時点> 子どもの医療費助成、保育料の減額・免除 私立幼稚園保護者補助金
		文化・芸術・スポーツと親しむ環境づくり	せたがやジュニアオーケストラ、各種教育普及事業の実施(美術館鑑賞教室、演劇ワークショップ他) 親子体操などの機会の充実、基礎的運動能力と体育向上事業の充実 おはなし会、出張おはなし会やブックリストの活用を通じた読書活動の充実	オーケストラ演奏会 2回、美術館鑑賞教室11,300人、 演劇ワークショップ 6,680人、文学館子ども事業 13,000人 継続実施 おはなし会 1,375回(25,353人)、出張おはなし会 123回(7,549人)、ブックリスト7種類約70,000部作成・配布
	-3子どもの権利擁護・意識の醸成	子どもの権利への意識の醸成	子ども条例パンフレット等を通じた条例の周知 機関紙「せたホッとレター」発行や活動報告会を通じた「せたホッと」の周知・啓発	すべての区立小中学校の小1・小4児童及び中1生徒へ配布 「せたホッとレター」2回発行、報告会1回実施
		子どもの権利を守る体制の充実	いじめ予防授業、教育相談研修、要保護児童支援協議会 せたホッと相談業務、関係機関への調査・調整、保育の質ガイドラインの周知・活用及び虐待対応研修の実施を通じた体制の整備	予防授業1校、研修(中級)8月21日教育センターにて実施、 支援協議会(地域協議会)9回実施 相談業務・調査・調整の継続実施、保育の質概要版の作成、 虐待対応研修 計2回実施
若者支援施策の推進	-1若者の交流と活動の推進	社会教育施設や学校跡地、公共施設を活用した新たな若者の活動支援施設の整備・運営	青少年交流センターの運営 (仮称)希望丘青少年交流センターの整備に向けた青少年建設構想委員会の開催 大学生が運営する若者の居場所の設置・運営	青少年交流センターの運営 発表会を開催 昭和女子大学の運営する「あいりす」を整備、日本大学文理学部の運営する居場所「たからばこ」を整備
		児童館の中高校生世代の活動支援機能の拡充	ティーンズプロジェクトの充実 参加者数2,200人 ティーンズタイム	参加者数2,200人 25館で実施
		地域の担い手づくりに向けた地域活動団体との連携	児童館交流事業における中高生参加 ユースリーダー事業の推進 青少年健全育成活動・PTA活動への支援	参加の支援 5地域で10回実施 8月・3月に新潟県十日町市で宿泊研修を実施 世田谷区青少年・青少年関係者表彰：青少年個人10名、 青少年団体2団体、育成功労者31名 PTA活動への支援：「みんなで学ぶPTA」の実施
	-2生きづらさを抱えた若者の支援	世田谷若者総合支援センターの運営	メルクマールせたがやと若者サポートステーションの連携 若者福祉的就労プログラム事業の実施 子ども・若者支援協議会の運営 若者総合支援センターとその他の若者関連の相談機能との連携	月2回の定例会を開催、その他必要に応じて随時連携 27年9月～11月初旬の間、週1回、野毛青少年交流センターに開設したカフェで福祉的就労事業を実施 代表者会議27年7月実施・28年2月実施予定、実務担当者会議6回(実施予定含む)、個別ケース検討会議12月末現在14回 若者支援連携会議4回(実施予定含む)
		子どもの居場所の拠点整備	若者支援協議会の運営、関係機関の連携と若者支援ネットワークづくり 大学生の運営する居場所の整備及び運営協力 メルクマールせたがやによる大学生への相談支援	代表者会議27年7月実施・28年2月実施予定、実務担当者会議6回(実施予定含む) 昭和女子大学の運営する居場所「あいりす」を整備、日本大学文理学部の運営する居場所「たからばこ」を整備 昭和女子大学・日本文理学部大学の連携による対象者相談支援 1件
	-3若者の社会に向けた文化・情報の発信への支援	若者、区民、地域活動団体等が取り組む主体的な活動への支援	地域活性化につながる若者の主体的な取組みへの支援 インターネット、SNSによる情報発信の検討 せたがや若者応援ブック、ホームページの作成	子ども・青少年協議会での地域活性化につながる若者の主体的な取組みへの支援の検討 子ども・青少年協議会にて検討を実施 せたがや若者応援ブックを区内学校等に配布、せたがや若者応援webを作成